

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科/ヘアメイク科	2	60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	菊水 由加	実務経験	○		
実務内容	クリニックや形成外科など医療法人での勤務歴15年 正看護師免許取得				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～2章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系の演習(国家試験過去問題)と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第3章～5章)	筋系、神経系、感覚器系の演習(国家試験過去問題)と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第6章～8章)	血液・循環器系、呼吸器系・消化器系の演習(国家試験過去問題)と解説
4	皮膚科学(第1章)	皮膚の構造
5	皮膚科学(第2章)	皮膚付属機関の構造(毛)
6	皮膚科学(第2章～3章)	皮膚付属器の構造(脂腺、汗腺、爪) および皮膚の循環器系と神経系
7	皮膚科学(第4章)	皮膚と付属器の生理機能
8	総まとめ	テストを実施する

9	皮膚科学（第5章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
10	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 （皮膚の異常とその種類～皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹）
11	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患（日光皮膚炎～分泌異常による疾患）
12	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患（化膿菌・ウイルス・真菌による皮膚疾患）
13	まとめ	まとめを実施する
14	解説 皮膚科学（第6章）	振り返り・解説 衛生害虫による皮膚疾患～皮膚の腫瘍
15	総まとめ	総まとめを行う
16	皮膚科学の復習（第1章～2章）	皮膚の構造と皮膚付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習（題3章～4章）	皮膚の循環器系と神経系および皮膚と付属器官の生理機能の演習と解説
18	皮膚科学の復習（第5章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習（第6章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講					
年次	2年	学科	美容科/ヘアメイク科	単位数	3
時間数					90
使用教材	美容技術理論Ⅱ			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	前川和也	実務経験		○	
実務内容	美容室勤務9年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	≪ 8章 エステティック ≫ 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング4. 美容におけるマツサージ理論 5. フェイシャルケア技術	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技
2	6. フェイシャル及びデコルテマツサージ 7. フェイシャルパック 8. ボディケア技術 9. ボディマツサージ ≪ 9章 ネイル技術 ≫	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マツサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&フィラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマツサージのポイント・手順、フットマツサージのポイント・手順
5	≪ 10章 メイクアップ ≫ 1. メイクアップ概論2. 顔の形態学的な観察 3. メイクアップと色彩4. 皮膚の生理と構造 5. メイクアップの道具 6. スキンケア	・メイクアップ概論(サロワーク・スタジオワーク)・顔のプロポーション、顔の骨格と筋肉、顔の立体研究、メイクアップによる立体感、顔の凹凸に基づいたブロッキング グ・色の三属性、マルセル表色系による色の分類、 角度配色・皮膚の生理と構造・メイクアップの道具・クレンジング、トーンング、プロテクティング・ファンデーションの目的・選び方、塗り方と順序の一例、多色塗り、ハイライト、ローライト、カパーホワイト
6	8. アイメイクアップ 9. アイブロウメイクアップ 10. リップメイクアップ 11. ブラッシュアップ 12. まつ毛エクステンション	アイライン、アイシャドウ、カラーアイシャドウ、パウダーアイシャドウ、アイラッシュカール、マスカラ つけまつ毛のテクニク・眉の整え方、ドローイング、シェーディング ・リップの丸みのある描き方、鋭角的な描き方、ブラッシュアップ ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項、施術の一例
7	総まとめ	テストを実施する 8章~10章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
8	≪ 11章 日本髪 ≫ 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴4. 日本髪と調和	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和

9	5. 日本髪の変飾品 6. 日本髪の変髪道具 7. 日本髪の変髪技術 8. 日本髪の手入れ	・日本髪の変飾品・日本髪の変髪道具・日本髪の変髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら（かぶせ方、飾り方、付け方、髻の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ）
10	＜12章 着付けの理論と技術＞ 1. 着付けの目的2. 礼装3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ5. 帯6. 小物 7. 着物各部の名称8. 着物のたたみ方	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
11	9. 着付けの一般的要領10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術12. 帯締め、帯揚げの結び方 13. 男子礼装羽織、袴着付け技術	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、 帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
12	14. 羽織のひもの結び方15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項17. 和装花縁 18. 洋装花縁(ウェディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花縁の動作に注意する、機敏な動作・和装花縁・ 洋装花縁
13	まとめ	まとめを実施する 11章～12章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
14	解説	テストの振り返り・解説
15	美容技術理論Ⅱ 総まとめ	美容技術理論Ⅱ 総まとめを行う
16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプーイング・ヘアデザイン 重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマネントウェービング 重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ 総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度			
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科/ヘアメイク科	1	30	
使用教材	関係法規・制度		出版社	社) 日本理容美容教育センター		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。				
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。				
評価基準	テストおよび小テスト：80パーセント 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山城 航	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章 法制度の概要 第1節 第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会における法の役割 日本の法令体系
2	第1章 法制度の概要 第3節 第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章 衛生行政の概要 第1節 ~ 第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章 理容師法・美容師法 第1節	「美容師法」の目的
5	第3章 理容師法・美容師法 第2節	「美容師法」で用いられる用語の定義
6	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許取得までの過程
7	まとめ	まとめを実施する。
8	解説	振り返り・解説

9	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師に求められる義務
10	第3章 理容師法・美容師法 第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章 理容師法・美容師法 第3節	管理美容師
12	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する。
15	解説・総まとめ	振り返り・解説
16	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
19	第4章 関連法規	美容業の運営に関する関連法規
20	第4章 関連法規	美容業の衛生・顧客に関する関連法規
21	まとめ	まとめを実施する。
22	解説	振り返り・解説
23	第1章 第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する。
27	解説	振り返り・解説
28	総復習（1）	国家試験過去問演習等
29	総復習（2）	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理		
開講					
年次	2年	学科	美容科／ヘアメイク科	単位数	3
時間数					90
使用教材	衛生管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。				
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけではなく、業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	仲西 佳代	実務経験		○	
実務内容	看護師としてICU、慢性病棟、リハビリ病棟など9年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 公衆衛生 1章公衆衛生の概要	先輩や講師自身の話をする美容師免許を所得する上での必要性取得までの流れを説明 この教科で一番興味を持ちそうな話をする(身近な病気や生活習慣病など普段の生活に 近い話) 健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割
2	第1編 公衆衛生 2章保健	「母子保健」・「成人・高齢者保健」・「精神保健」
3	第2編 環境衛生 1章環境衛生の概要・空気環境	環境衛生の内容・目的・意義・活動 空気の成分と有毒ガス 温度・湿度・風と健康
4	第2編 環境衛生 1章衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物
5	第2編 環境衛生 1章衛生害虫とネズミ・環境保全	衛生害虫とネズミ・環境保全
6	まとめ	まとめを実施する。振り返り・解説
7	第3編 感染症 1章感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史、法律・感染症の分類

8	第3編 感染症 1章感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響
9	第3編 感染症 1章感染症の総論③	感染症の予防免疫と予防接種・予防のための3原則
10	第3編感染症 2章感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
11	第3編感染症 2章感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
12	第3編感染症 2章感染症の各論③	具体的な対策の例
13	まとめ	まとめを実施する。
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
17	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意
18	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
19	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実際
20	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領①	第1～第4 衛生的取り扱い等
21	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第1～第4 衛生的取り扱い等
22	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領③	第5～第6 自主的管理体制
23	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領④	第5～第6 自主的管理体制
24	まとめ	まとめを実施する。振り返り・解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	化粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	化粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科/ヘアメイク科	2	60
使用教材	化粧品化学		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や化粧品等に関する科学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。「美容保健」、及び「美容実習」と関連させながら、実際的な知識の習得する。				
到達目標	美容の化粧品化学・美容機器・化粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用できる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	比嘉 歩	実務経験		○	
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務(7年) 化粧品化学担当資格取得				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 1章 化粧品概論	先輩や講師自身の話をする 美容師免許を所得する上での必要性 取得までの流れを説明する 教科で一番興味を持ちそうな話をする(身近な薬剤の話など)
2	2章 化粧品原料	「化粧品の対象となる人体各部の性状」「水性原料」「油性原料の解説と演習
3	2章 化粧品原料	「油性原料」「界面活性剤」「高分子化合物」の解説と演習
4	2章 化粧品原料	「色材」「香料」「その他配合成分」「ネイル、まつ毛エクステンション用材料」の解説と演習
5	3章 基礎化粧品	「皮膚洗浄用化粧品」「化粧水」「クリーム・乳液」「その他の基礎化粧品」「メイクアップ用化粧品」の解説と演習
6	4章 メイクアップ用化粧品 5章 頭皮・毛髪用化粧品	「メイクアップ用化粧品の種類と剤形」「ベースメイクアップ化粧品」 「ポイントメイクアップ化粧品」の解説と演習 「シャンプー剤」「スタイリング剤」の解説と演習
7	まとめ	まとめを行う
8	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「スタイリング剤」の解説と演習

9	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「パーマ剤」の解説と演習
10	5章 頭皮・毛髪用化粧品	「ヘアカラー」の解説と演習
11	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
12	6章 芳香製品と特殊化粧品	「芳香・特殊化粧品」「特殊化粧品」の解説と演習
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	付録 化粧品化学を理解するための基礎化学 付録1～付録2	「物質の構成」「物質（水）の構成」の解説と演習
17	化粧品化学を理解するための基礎化学 付録3～付録5	「溶液とコロイド」「イオンと水素イオン指数」「物質の変化と化学反応」の解説と演習
18	化粧品化学を理解するための基礎化学 付録6～付録7	「酸化・還元反応」「タンパク質」の解説と演習 化学範囲の復習
19	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
20	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
21	化粧品化学	「化粧品分野」重点項目の復習と確認
22	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
23	化粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
24	まとめ	まとめを行う
25	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-A		
開講					
年次	2年	学科	ヘアメイク科	単位数	2
時間数					60
使用教材	オールウェーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小川 あずさ(他2名)	実務経験	○		
実務内容	美容師免許取得後、ブライダルヘアメイクアーティストとしてブライダルサロン勤務(10年)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生(技術における衛生上の取り扱い) 1年次おさらい 1段目~3段目、くりぬき(ウェーブ・リッジ)、計測27分
2	オールウェーブセッティング	1年次おさらい 1段目~3段目、くりぬき(ウェーブ・リッジ)復習、計測27分~25分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール導入(手順、スライス、ピニング)、美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	1段目~3段目、くり抜き復習、計測25分~20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	1段目~3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール導入
5	オールウェーブセッティング	1段目~3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール導入

6	オールウエーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール復習、強化、7段目クロッキノールカール導入
7	オールウエーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール、7段目クロッキノールカール復習、強化、7段構成全体のバランス
8	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティングまとめを実施する 1段目～3段目、くり抜き、4段目右リフトカール、5段目左リフトカール計測26分 6段目メイボール、7段目クロッキノールカール復習、強化、計測、7段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウエーブセッティング	7段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測4段目～7段目カール12分 7段構成 計測35～30分、美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング	7段構成 計測35～30分 美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
12	オールウエーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
13	オールウエーブセッティング	7段構成25分 美容師国家試験衛生
14	オールウエーブセッティング 総まとめ	7段構成25分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-B			
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-B			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	2	60	
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上床 梨絵（他3名）	実務経験		○	
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務（5年）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック（コーム、9ブロック）3分、全頭巻き30分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック（コーム、9ブロック）3分、全頭巻き30分 ブロッキング3ブロック導入
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全島巻き30～25分
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全島巻き30～25分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全島巻き30～25分
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全島巻き25分

8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック3ブロック1分、全島巻き25分
9	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 全島計測20分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り
各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい カット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）16分（チェックカット込み）20分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）16分（チェックカット込み）20分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）16分（チェックカット込み）20分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り 課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式 オールウエーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% オールウエーブ：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上床 梨絵（他3名）	実務経験	○		
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務（5年）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】

回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生

8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング 総まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
各回の展開【オールウェーブセッティング】		
回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
6	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
8	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
12	オールウェーブセッティング 総まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-D		
開講					
年次	2年	学科	美容科	単位数	3
時間数					90
使用教材	カット教材一式 シャンプー教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カットの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% シャンプー：10%/各校フリー：総まとめ20% まとめ15% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	比嘉 歩（他3名）	実務経験		○	
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務（7年）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生

8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
12	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する
各回の展開【シャンプーイング/各校フリー】		
回数	単元	内容
1	シャンプーイング	シャンプー台の利用の仕方、シャンプー知識、ブラッシング、シャワーヘッドの使用方法 シャンプーのプロセスの理解
2	シャンプーイング	プレシャンプー シャンプー手順 1シャンプー
3	シャンプーイング	シャンプー手順 1シャンプー
4	シャンプーイング	シャンプー手順 1シャンプー トリートメント
5	シャンプーイング	シャンプー手順 2シャンプー トリートメント
6	国試対策	国試対策
7	国試対策	国試対策
8	国試対策	国試対策
9	国試対策	国試対策
10	国試対策	国試対策
11	国試対策	国試対策
12	国試対策	国試対策
13	国試対策	国試対策
14	国試対策	国試対策
15	国試対策	国試対策

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-E		
開講					
年次	2年	学科	美容科	単位数	3
時間数					90
使用教材	ワインディングまたはオールウェーブ教材一式・カット教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-D				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	比嘉 歩(他3名)	実務経験		○	
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務(7年)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生

6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生　まとめを実施する
8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生　総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	スチール撮影実習Ⅱ			
必修選択	必修	(学則表記)	スチール撮影実習Ⅱ			
開講					単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	1	30	
使用教材	カメラ機材(※各校にて可能な範囲) 筆記用具		出版社			

科目の基礎情報②

授業のねらい	作りたいヘアメイクのデザインには、どのようなライトやバック紙を選択すれば良いかを知る				
到達目標	バック紙等、背景の違いによるメイクアップ効果の違いを知る 様々なシーンに合わせた背景を選べるようになる				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	美容実習Ⅰ-E、スチール撮影実習Ⅰ、ヘアメイク実践Ⅰ-A				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	村上 佑	実務経験		○	
実務内容	写真スタジオ勤務6年・写真スタジオ経営7年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション バック紙の使い方と効果	オリエンテーション(後期の流れ・作品撮影・ヘアメイク連動について) 授業の目的目標、評価基準、授業ルール
2	白バック紙にて撮影①	白いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
3	白バック紙にて撮影②	
4	白バック紙にて撮影③	

5	黒バック紙にて撮影①	黒いバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
6	黒バック紙にて撮影②	
7	黒バック紙にて撮影③	
8	野外のロケーションにて撮影①	野外のロケーションで、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
9	野外のロケーションにて撮影②	
10	カラーバック紙にて撮影①	カラーバック紙で、光源の違いによる仕上がりを学ぶ バック紙に合わせてテーマ設定をし作品撮影を行う
11	カラーバック紙にて撮影②	
12	カラーバック紙にて撮影③	
13	作品制作①	テスト
14	作品制作②	自分でヘアメイクに合うライティングやバック紙を考え作品制作を行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	全学科	1	30
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社ADE CREATES	

科目の基礎情報②

授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材。				
到達目標	希望の就職先に内定				
評価基準	テスト：10% 提出物・課題：50% 授業態度：40%				
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	前川 和也	実務経験	○		
実務内容	美容室勤務9年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	夢	2年生になって、ここからの目標・学校生活、就職について
2	人間力	人間関係の構築・就職活動（GWの課題）
3	人間力	集団行動の大切さ・就職活動の課題
4	夢	企業研究
5	人間力	プレゼンテーション・グループディスカッション
6	人間力	チームワーク（熱い動画）
7	夢	美容業界リサーチ
8	人間力・夢	就職先リサーチ・ディスカッション

9	人間力	チームワークとやりきる力
10	人間力	行事を通してのクラス、学年の団結の振り返りとこの先へ向けて
11	夢	美容業界の知識を深める
12	夢	若手実業家（動画）
13	夢	企業研究・話す力・聴く力、夏休みの課題について
14	夢	課題のプレゼンテーション
15	人間力	前期の振り返り（目標達成度の確認）
16	人間力	オリエンテーション（なりたい自分に向けて） レクレーション
17	人間力	担任の想い
18	夢	一般常識
19	夢	社会人として求められているもの
20	人間力	愛される人材とは
21	人間力	メンタルトレーニング①
22	人間力	メンタルトレーニング②
23	夢	企業研究
24	人間力	感謝の気持ち
25	夢	企業研究
26	夢	CASEスタディ①
27	夢	CASEスタディ②
28	人間力	卒業してからの自分を想像する
29	夢	企業研究の総まとめ
30	夢	2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアメイク実践Ⅰ（特殊メイク）		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアメイク実践Ⅰ		
開講					
年次	2年	学科	ヘアメイク科	単位数	5
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージェュエリー道具、その他特殊用品等		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする				
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅡ、サロンワーク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	若林 知美	実務経験	○		
実務内容	美容師免許取得後、美容室勤務を得てフリーランスヘアメイクとして活動				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	ビューティーレイアウト	顔のバランスを分析する
3	老人メイク	老人のメイクを実践する
4	表情①	怒り、悲しみ、喜びの表情を表現する
5	表情②	怒り、悲しみ、喜びの表情を表現する

6	テスト	テーマに合わせたメイクを実践するテスト、振り返り
7	傷メイク①	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの導入・実践
8	傷メイク②	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践
9	エアブラシ①	テーマに合わせたメイクの導入・実践
10	エアブラシ②	テーマに合わせたメイクを実践する
11	テスト	テーマに合わせたメイクを実践するテスト、振り返り
12	舞台メイク①	舞台メイク導入
13	舞台メイク②	舞台の女役メイクを実践する
14	舞台メイク③	舞台の男役メイクを実践する
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアメイク実践Ⅰ（着付け）		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアメイク実践Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	5	150
使用教材	教本・ゆかた本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも（モスリン（4点））長襦袢（半えり付）・和装スリッパ（下着）・クリップ（2点		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・着付け3級（6月強制受験 免許強制） ・着付け2級（12月強制受験 免許任意） を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格☑				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	仲里 千枝子	実務経験	○		
実務内容	きもの着付け講師として30年以上勤務経験有				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、 考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する

4	小紋の着せ方 3	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5	小紋の着せ方 4	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する
6	小紋の着せ方 5	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7	小紋の着せ方 6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方 7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け 3 級検定（小紋の着付と蝶結び（20分））を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学 1	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	座学 2	着物のTPO（プリント③④）について
14	座学 3	着物の知識（プリント⑥～⑨）について
15	総合学習	小紋の着付（お太鼓結び）と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアメイク実践Ⅰ（まつ毛エクステンション）		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアメイク実践Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	5	150
使用教材	まつ毛エクステンション教材一式		出版社	公益財団法人美容師美容師試験研修センター	

各回の展開

回数	単元	内容
授業のねらい	まつ毛エクステンションの理論、眼の周りの病気、禁忌、薬剤の使い方、装着の仕方を学び、実践に慣れさせる。	
到達目標	ABEまつ毛エクステンション検定 アシスタントディレクター取	
評価基準	①テスト40% ②小テスト20% ③提出物20% ④授業態度20%	
認定条件	①出席が総時間数の3分2以上ある者 ②成績評価が2以上の者	
関連資格	美容師国家資格（座学）	
関連科目	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。	
備考	国家試験合格者にもみ検定ディプロマ発行 原則、この科目は対面授業にて実施する。	
担当教員	平良 友郁	実務経験 ○
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務。その後アイリストとしてアイラッシュサロンで勤務	

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション、 道具確認、ワゴンセッティング	授業の流れとルール説明、道具確認とワゴンセッティング
2	概論、用具 まつ毛エクステンション実習①	まつ毛エクステンションの概論と用具の説明、 用具の消毒と手指消毒、ツイザーの持ち方、まつ毛のかき分け方
3	衛生管理 まつ毛エクステンション実習②	衛生管理、グルーの取り扱いと使用方法と紙でのまつ毛エクステンションの装着
4	保健（皮膚とまつ毛） まつ毛エクステンション実習③	皮膚とまつ毛の構造と病気、Jカールの装着
5	保健（眼） まつ毛エクステンション実習④	眼の構造と病気、Cカールの装着

6	テーピング、リムービングの 使い方と技術	テーピングとリムービングの使用方法、ウィッグでのテーピング練習
7	カウンセリング まつ毛エクステンション実習⑤	カウンセリング、アフターケアの説明、装着復習
8	復習確認 タイムトライアル①	復習、検定試験実技の流れ
9	タイムトライアル②	タイムトライアル
10	復習確認 タイムトライアル③	タイムトライアル
11	前期末確認準備	前期末対策と準備
12	前期末総復習	前期末総復習・振り返り
13	検定試験対策①、検定試験前準備	検定試験実技の対策と検定試験実技の前準備
14	検定本番	検定
15	検定振り返り	検定振り返りとフリーデザイン作成

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアメイク実践Ⅰ（サロンテクニック）		
必修選択	選択	（学則表記）	ヘアメイク実践Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	5	150
使用教材	カットマスター		出版社	ヘアモード社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	プラントカットの基本を身につけ、カットの楽しさを知り美容師のはかりしきれない魅了に触れてもらうこと。				
到達目標	サスーンカット（プラントカット）基本のワンレン・グラデーション・レイヤーを理解し最低限の習得を目標とする。				
評価基準	テスト30% 小テスト20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容実習				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	前川 和也（他1名）	実務経験		○	
実務内容	美容室勤務9年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション～カット1	2020オリエンテーション～サイドグラデーション（カットマスターP24～28）両サイドまで
2	カット2	サイドグラデーションスタイルチェンジ～フロントインナーカラー（三角セクション）
3	レイヤーカット1	ワンリングス～スクエアレイヤーロング
4	レイヤーカット2	マッシュウルフスタイル（スイープテクニックを使って頭の丸みに添ったレイヤーを入れる）
5	レイヤーアレンジ3	マッシュウルフスタイルをパーマスタイルにアレンジ

6	テスト1	ベーシックワンレングス テスト終了後ワンレングスにスクエアのレイヤーを入れスタイルチェンジ
7	カラー1	相モデルでカラー&スタイリング&撮影 (テーマ 似合わせ)
8	ショートヘア1	ワンレングス～バイアステクニック
9	ショートヘア2	バイアストップセクションにホイルワークでデザインカラー
10	スタイル作成	ワンレン～グラデーションボブ
11	スタイル作成	グラデーションボブ～インサイドアウト (ラウンドグラデーション ラウンドレイヤー)
12	スタイル作成	メンズスタイル
13	テスト2	ウィッグ仕込 カラー パーマ 展示図
14	卒業制作	卒業作品制作
15	総まとめ	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアメイク実践Ⅱ（着付け）		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアメイク実践Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	教本・ゆかた本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも（モスリン（4点））長襦袢（半えり付）・和装スリッパ（下着）・クリップ（2点		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・着付け3級（6月強制受験 免許強制） ・着付け2級（12月強制受験 免許任意） を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格☑				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	仲里 千枝子	実務経験	○		
実務内容	きもの着付け講師として30年以上勤務経験有				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
2	振袖の着せ方2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
3	振袖の着せ方3	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する

4	振袖の着せ方 4	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
5	振袖の着せ方 5	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
6	振袖の着せ方 6	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
7	振袖の着せ方 7	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
8	振袖の着せ方 8	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付け 2 級検定試験（振袖にふくら雀 30 分）を実施する
11	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
12	留袖の着せ方 2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
13	紋服の着せ方	紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
14	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
15	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアメイク実践Ⅱ（ビジネス英会話）		
必修選択	選択	（学則表記）	ヘアメイク実践Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ビギナーレベルのヘアメイクアップアーティスト科の生徒にできるだけ専門用語を教え、更に一般的な英語を話せるようにすること。				
到達目標	様々な現場が想定される中、クライアント様と”スモールトーク”、”現場コミュニケーション”を最低限取るよう、日本語に変わる英語という言葉に親しみを感じさせながら、自己演出できる生きた言語を学ばせる				
評価基準	小テスト30%、宿題20%、大テスト50%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	サロンワーク、美容実習				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松本 紗苗	実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	後期授業について説明	目的、現場で使われている英語の紹介
	簡単な英語レベルチェック	A-Zまでの発音、筆記確認
2	会話力（初級）	文章（会話）の成り立ち基本
		数字等必要単語の確認①
3	会話力（初級）	数字等必要単語の確認②
		まずは簡単な表現や会話にふれる。グループワークなどで英語を使いながら会話をする
4	会話力（初級）	本物の会話に使われる単語、時代に合わせた単語を学ぶ①
	会話力（中級）	本物の会話に使われる単語、時代に合わせた単語を学ぶ②

5	会話力（中級）	英語会話センテンスの作り方
		自分の事を英語を使って紹介、アピールをするための素材や単語を集め文章。
6	会話力（中級）	自分の事を英語を使って紹介、アピールをするための素材や単語を集め文章。
	テスト対策	テスト対策を行う
7	テスト	テスト
8	総合学習	総まとめ
	コミュニケーション力	夏休み宿題発表&後期からのルール説明
9	コミュニケーション力	リスニングのポイント
		海外でコミュニケーション法
10	コミュニケーション力	間違えやすい単語、面白単語、略語、文章①
		間違えやすい単語、面白単語、略語、文章②
11	コミュニケーション力	文章作成
		スモールトーク実践
12	コミュニケーション力	コミュニケーション/挨拶等
		疑問形を使った文章会話
13	コミュニケーション力	海外でのスモールトークの創り方/その他コミュニケーション会話
		小テスト（筆記プラス会話）/今まで習ってきた事
14	コミュニケーション力	ヘアメイクアップアーティストの台本作成説明
	テスト対策	台本練習における大切なポイント/発音訓練
15	テスト	ヘアメイクアップアーティストのロープレ本番
	総合学習	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアメイク実践Ⅱ（撮影メイク）		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアメイク実践Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、ブライダル雑誌		出版社	F朝日出版社 / 三修社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学び、現場を意識して実践する、洋装和装ヘアメイク・お色直し・撮影				
到達目標	ブライダルフォトウエディングの基礎を理解し撮影現場での実践ができるようにする				
評価基準	テスト50%、提出物25%、授業意欲25%				
認定条件	①出席が総時間数の3分2以上ある者②成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	スチール撮影実習				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	福澤 千津子・平良 尚子	実務経験	○		
実務内容	美容業界に10年以上携わり、美容師免許・日本メイクアップ検定取得				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本知識	ブライダルヘアメイクとは ブライダル基礎用語・挙式の種類
2	ブライダル概論・基礎知識①	小物・ドレスライン・ネックラインの種類・ドレスの着せ方等
3	ブライダル概論・基礎知識②	ブーケの種類・髪飾り・ベール種類・メンズフォーマル等
4	ブライダルヘアメイクの基本①	普通のヘアメイクとブライダルヘアメイクの違い
5	ブライダルヘアメイクの基本②	ブライダルヘアメイク（制作実習・撮影）

6	和装ブライダルヘアメイク(1)	和装座学・和装花嫁デモ（かつら・水化粧）
7	和装ブライダルヘアメイク(2)	水化粧相モデル実習
8	和装ブライダルヘアメイク(3)	着物メイク（留袖・訪問着）
9	和装ブライダルヘアメイク(4)	七五三
10	和装ブライダルヘアメイク(5)	成人式 ドレス決め・カウンセリングシート作成
11	卒業制作①	卒業制作・ブライダルフォトアルバム制作 リストブーケ作成等
12	卒業制作②	卒業制作・ブライダルフォトアルバム制作 ヘアメイク・ドレス着用・撮影
13	卒業制作③	卒業制作・ブライダルフォトアルバム制作 ヘアメイク・ドレス着用・撮影
14	卒業制作④	卒業制作・ブライダルフォトアルバム制作終了 ヘアメイク・ドレス着用・撮影
15	総合授業	総まとめを行う（ブライダルフォトアルバム完成→配布）